



しなやかに舞う2022ミスさんさの千葉 彩楓さん(市在住)

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202)

岩手に戻った夏の風物詩

3年ぶりのパレードに市内のさんさ団体が参加

第45回盛岡さんさ踊りは、8月1日から4日まで盛岡市で行われ、市からは「八幡平さくらさんさ愛好会」の約50人が3年ぶりとなるパレードに参加しました。

県公会堂前を福呼踊りでスタートしたメンバーは、観衆から歓声を浴びると盛り上がりは最高潮に。ハツラツとした表情は充実感に溢れていました。

パレードに参加した藤原佳穂さん＝館腰＝は「久しぶりの雰囲気ドキドキしている。活気が戻ってグツとくるものがあった」と心から楽しんだ様子でした。



先頭は(左から)佐々木市長、山口聡子代表、工藤市議会議員



地道でひたむきな日常練習の結果、優勝を掴んだ相撲部員

次の取組に向け決意表明

県中総体優勝の西根一中相撲部が表敬訪問

7月17日に行われた県中総体相撲競技で、4年ぶり25回目となる団体優勝した西根一中の相撲部は8月5日、優勝旗を携えて佐々木孝弘市長を表敬訪問しました。

3年の佐々木勇吾さんは「地域の皆さんのおかげで4年ぶりに優勝できました。東北大会でも全国大会でも全力を尽くして頑張ってきます」と決意を表明。佐々木市長から「全国でも活躍するのを楽しみにしています。頑張ってください」と激励を受けました。



上村地区資源保全会が景観整備した13アールのヒマワリ畑が見頃を迎える(8月19日、野駄地内)



安代っ子音楽コンサートでストラディバリウスの音色が安代小の児童を包む(7月20日、安代小体育館)



帰省時期に併せて開かたいわておかえりプロジェクトに移住相談ブースを出展(8月13、15、16日、盛岡駅)



岩手山の噴火をモチーフにした紙芝居に聴き入る生徒

方言を通じ郷土に触れる

西根中の全校生徒がふるさとの歴史を学ぶ

西根中は7月14日、方言や地域の昔話を教材に「ふるさとの歴史・自然・文化を学ぶ会」を開きました。講師で紙芝居ボランティアの高橋さよさん＝田頭＝が、方言の「雨ニモ負ケズ」や地域の昔話を紹介すると、生徒は熱心に耳を傾け、話に引き込まれていました。学ぶ会は、西根町史を活用するなど歴史を伝える取り組みができないかと、本年初めて開催。寺澤幸昌校長は「ふるさとを知り、地域学習で感じたことを新たな展開につなげて欲しい」と期待を込めました。



1本目より距離を伸ばした工藤柚佳さんのジャンプ(西根中)

五輪目指しビッグジャンプ

第35回田山ジュニアサマーjump大会を開催

市スキー大会実行委員会は8月7日、競技力の向上と底辺拡大を目的に、第35回田山ジュニアサマーjump大会を県営スキーjump場で開きました。北海道から長野県までの小中学生44人が参加。日頃の練習の成果を存分に発揮しました。スモールヒル小学5・6年生の部で3位となった田山スポーツ少年団の和井海聖さん(6年)は「今年から競技を始めた。初めての大会で表彰台に上がれてうれしい」と喜びをかみしめました。

多世代が集う場所づくり

市内初の総合型地域クラブ設立へ機運醸成

(仮称)総合型地域クラブDENDO設立準備委員会は7月23日、来年度設立を目指す総合型地域クラブを周知するため、親子ニュースポーツ体験会を開きました。当日は市内在住の親子5組が参加。オーバルボールなど全8種目のニュースポーツを体験し、総合型地域クラブの活動に理解を深めました。同会副会長の山口朋文さんは「クラブを通じてさまざまな世代が交流し、住民が集える場を目標に活動していきたい」と意気込みました。



卵型の楕円球を得点ゾーンに近づける「オーバルボール」

住民が支え合うまちづくり

生活支援体制整備事業を活用しセミナーを開催

(福)市社会福祉協議会は7月21日、支え合う地域の輪の拡大を図るため、住民が支え合いで暮らし続けるためのセミナーを開き、市民ら約50人が参加しました。「コロナ下の気にかける地域づくりとこれから」をテーマに(特非)全国コミュニティライフサポートセンター橋本泰典参事が講演。その後、地域の良さをグループで話し合いました。代表で発表した種市月さんは「当たり前だと思っていたことが宝物だと気づけてよかった」と決意を新たにしました。



地区の抱える問題点など活発な情報交換を行った参加者



タブレットで調べた国の特徴を英語で紹介する生徒

積極姿勢で英語に挑戦

小中学生を対象にイングリッシュキャンプ

市教育委員会は7月29日、英語の楽しさや積極的なコミュニケーションに挑戦してもらおうと、市内の小中学生を対象にイングリッシュキャンプを行いました。中学生コースでは、世界の国を英語で紹介する「ミニ万博会」に挑戦。タブレットを使いその国の見どころをまとめ、交互に英語で発表しました。ブラジルを英語で紹介した菊池沙羅さん(西根中2年)は「普段、こんなに英語を使うことはなかったが、今後は機会が増えると思う」と先を見据えていました。



小学生に分かりやすいように指導する平館高生

地域とともに歩む学校へ

夏休みに高校生から勉強を教わる寺子屋を開設

田頭小は8月9日、子どもたちに地域とつながりを持ちながら学んでもらおうと、高校生から勉強を教えてもらう「夏休み 寺子屋へGO」を開きました。同校の児童9人と平館高の生徒12人が参加。視聴覚室など会場を3つに分けて小学生たちが持参したさまざまな夏休みの課題に取り組みしました。先生役を務めた熊谷百々花さん(3年)は「子どもたちが素直に話を聞いてくれてとても教えるのがあり、楽しかった」と笑みを浮かべました。

すなっぶギャラリー



市博物館で昔遊び体験や夜の博物館見学などを楽しむ(8月11日、ナイトミュージアム)



安比高原スキー場で写真家の蛸川実花さんのアート展示(10月30日まで、安比アートプロジェクト)



いわて銀河プラザ(東京都)とオンラインでつなぎ、ふるさと納税の返礼品をPR(7月30日、安比塗漆工房)



安全で効率的なトレーニング方法を学ぶウエイトトレーニング教室を開催(7月14、21、28日、市体育協会)



7月20日で100歳を迎えられた高村サヨさんは「荒屋新町」これからは元気で(7月20日、自宅)